取扱説明書

保証書別添付

HITACHI
Inspire the Next

日立電気掃除機

型式
CV-SM10



ごみダッシュサイクロン

日立サイクロン式クリーナー

このたびは日立電気掃除機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この掃除機は家庭用です。業務用や掃除以外の目的にはご使用にならないでください。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。

「安全上のご注意」→P.6〜7をお読みいただき、正しくご使用ください。

もくじ

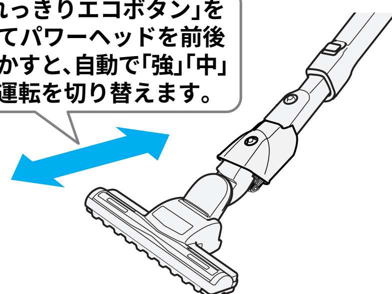
特長とお願い

これっきりエコボタンを押すだけで自動運転！「ごみダッシュ」で、ごみ捨て簡単・清潔。

ごみハンターヘッドα

「これっきりエコボタン」を押して運転すると、センサーがゆか面の種類や状態と、パワーヘッドの操作のしかたを感知して、自動で「強」「中」「弱」運転を切り替えます。

→ P.9、10



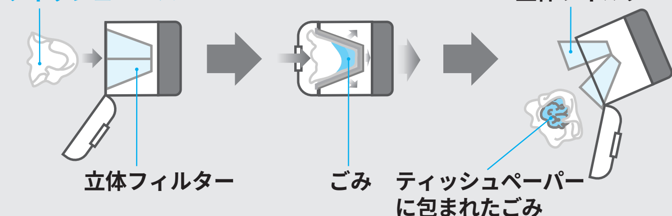
センサーは、次のようなことを感知して、自動で運転を切り替えます。
- ●ゆか面の凹凸や傷み
- ●じゅうたんの毛の向きや倒れ具合
- ●パワーヘッドの操作速度および方向転換
- ●パワーヘッドの停止

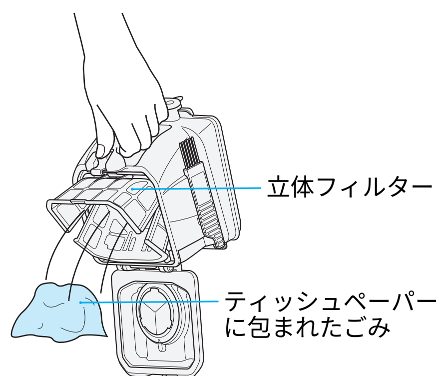
このため、同じようなゆか面をお掃除していても、運転が切り替わることがあります。

ごみダッシュ　パッと飛び出す！清潔ごみ捨て

吸い込んだごみがワンタッチで飛び出し、簡単に捨てられます。→ P.15

ティッシュペーパーを使うと、ごみ捨てがさらに簡単・清潔になりますのでおすすめします。→ P.17





- ●ティッシュペーパーは市販されている2枚重ねのものをご使用ください。
- ●ぬれたティッシュペーパーは使用しないでください。
- ●ティッシュペーパーを使用した場合、吸込仕事率が10W程度下がります。
- ●ティッシュペーパーの種類や取り付け状態によっては、ティッシュペーパーが破れることがあります。

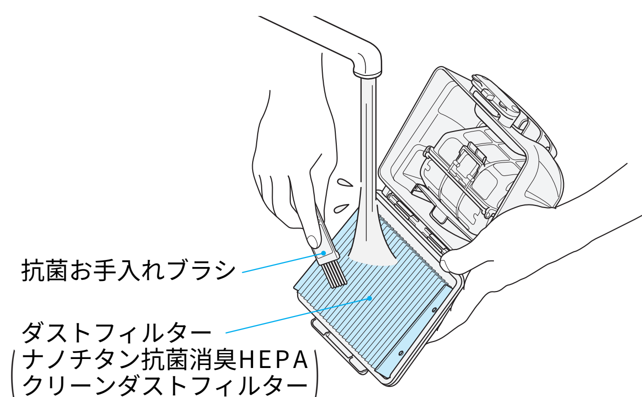
●サイクロン方式のクリーナーは、「紙パックがいらない」という特長を持っていますが、強い吸込力でお掃除していただくためには、ダストケースのお手入れが必要です。→ P.15〜19

「ごみハンターヘッドα」 ごみダッシュサイクロン

日立サイクロン式クリーナー

洗えるダストフィルター　水洗いすれば、強力パワーが復活

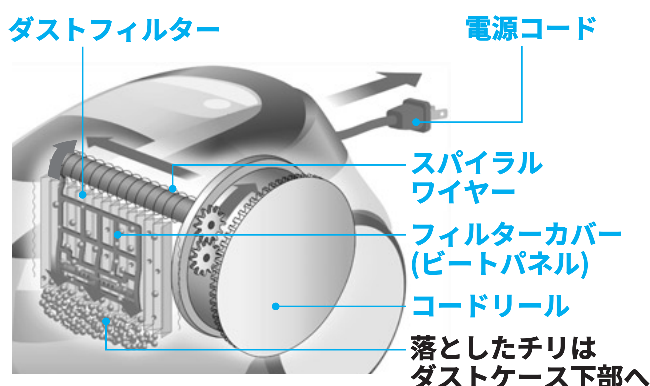
チリ離れ性、耐久性に優れた、新素材のダストフィルターを採用。
付属の「抗菌お手入れブラシ」を使って水洗いすれば、強力パワーが復活します。



- 本体のランプで、お手入れ（水洗い）の目安をお知らせします。➔ P.18
- 付属の「抗菌お手入れブラシ」以外のブラシは使用しないでください。
- 水洗い後は、十分に自然乾燥させてから本体に取り付けてください。
  乾燥には約12時間必要です。(乾燥時間は、環境や季節によって異なります。)

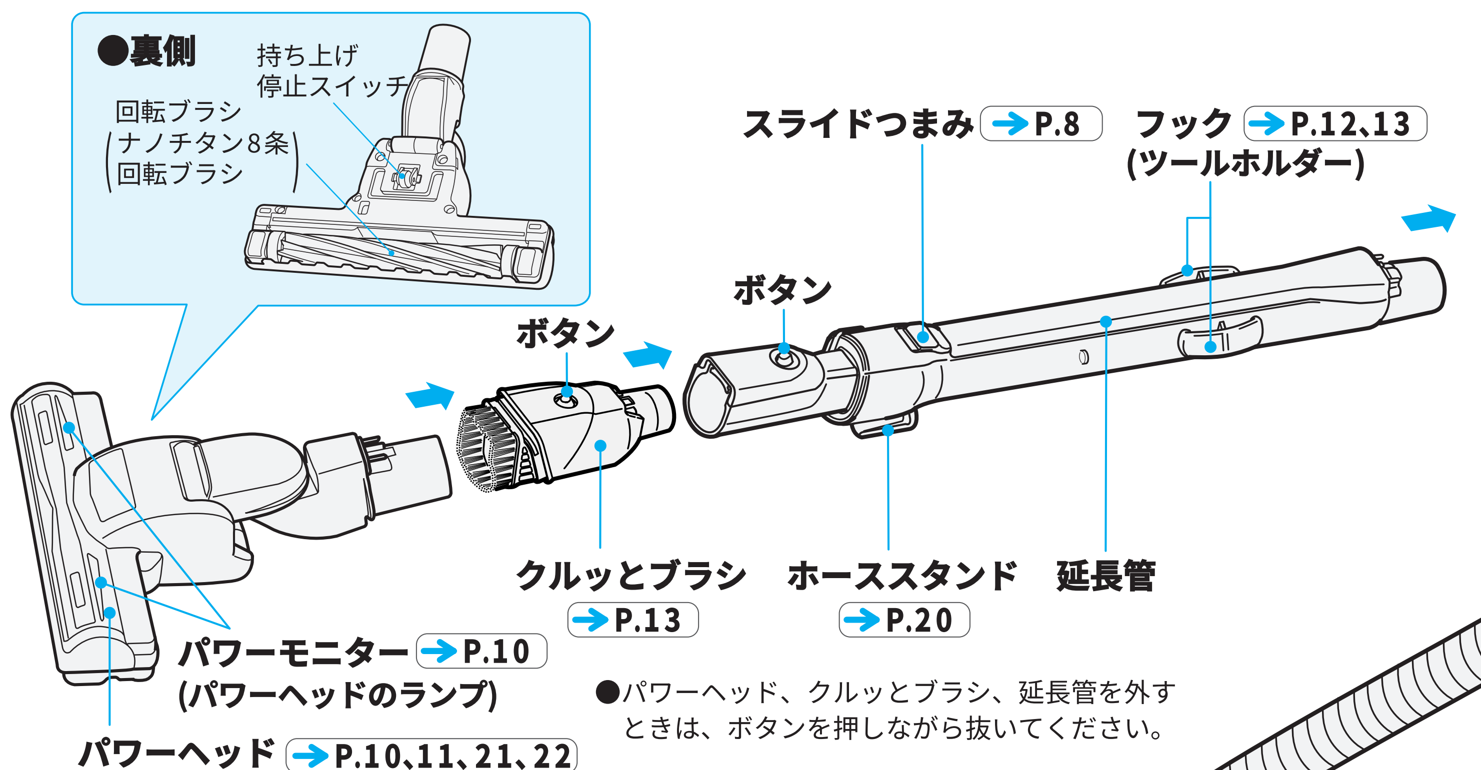
Wブルッとエンジン

電源コードを引くと、「スパイラルワイヤー」がダストフィルターを強力に振動させ、さらに「フィルターカバー(ビートパネル)」がダストフィルターをたたいて、付着したチリを落とします。
お掃除のたびにフィルターが自動でリフレッシュされるので、強力パワーが長持ちします。



- チリ落としの効果を出すため、お掃除のときは電源コードを黄印まで引き出してください。
- ダストケースを取り付けてから、電源コードを引き出してください。
  ダストケースを取り外したまま電源コードを引き出すと、スパイラルワイヤーの回転やフィルターカバーの振動で、手などをけがすることがあります。
- 電源コードを引き出すとき、巻き取るときのカタカタ音は「Wブルッとエンジン」の音ですので異常ではありません。
- 電源コードを巻き取るときは、チリ落としをしません。

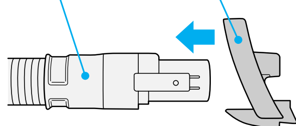
各部のなまえと組み立てかた



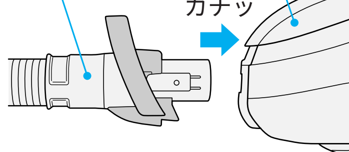
●パワーヘッド、クルッとブラシ、延長管を外すときは、ボタンを押しながら抜いてください。

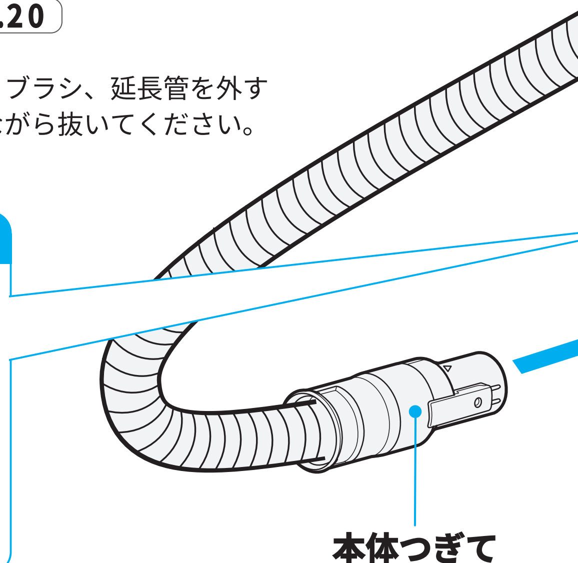
サッとハンドルの取り付けかた

1 **サッとハンドルを本体つぎてに取り付ける**

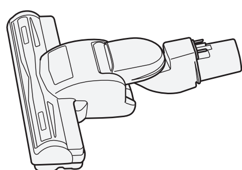
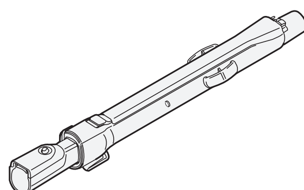
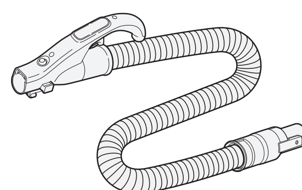


2 **本体つぎてを本体に差し込む**

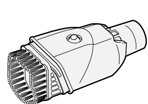
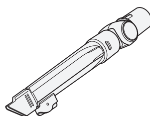
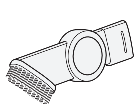
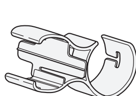
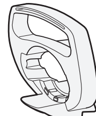
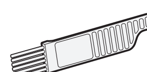
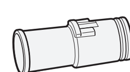




標準付属品

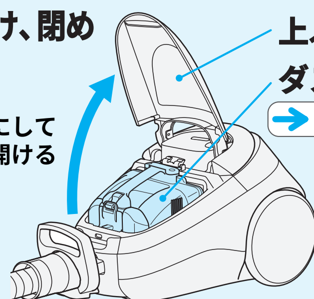
パワーヘッド（1個）(抗菌消臭イオンワイドパワーヘッド)	延長管（1本）(サッとズームパイプ)	ホース（1本）
		

付属応用部品

クルッとブラシ（1個）	曲がるロング吸口(D-SH4)(1個)(曲が～るロング吸口) ➔P.12	ブラシ(SH4)(1個) ➔P.12	吸口ホルダー(SH4)(1個) ➔P.12、13	サッとハンドル（1個）	抗菌お手入れブラシ（1個）(ダストケース側面に取り付けられています。)	ティッシュペーパー（1枚）(ダストケースに取り付けられています。) ➔P.17	別売り部品接続用アタッチメント（1個） ➔P.14
							

●階段など狭い場所で本体を持ち運ぶときは、サッとハンドルを使うと便利です。

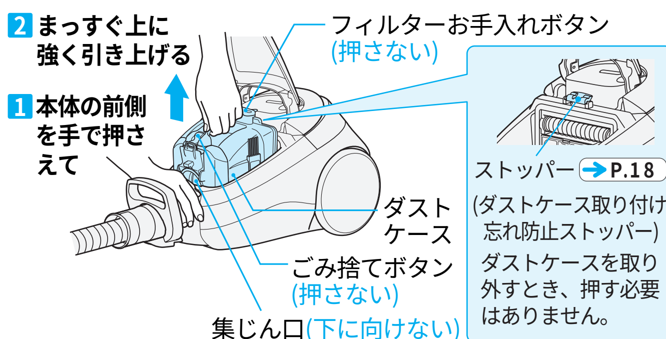
●上ふたの開け、閉め



●ダストケースが取り付けられていない状態や、奥まで入っていない状態では上ふたが閉まりません。➔P.18

●ダストケースが奥まで入っていない状態で本体を運転した場合、「ピー」という音がすることがあります。

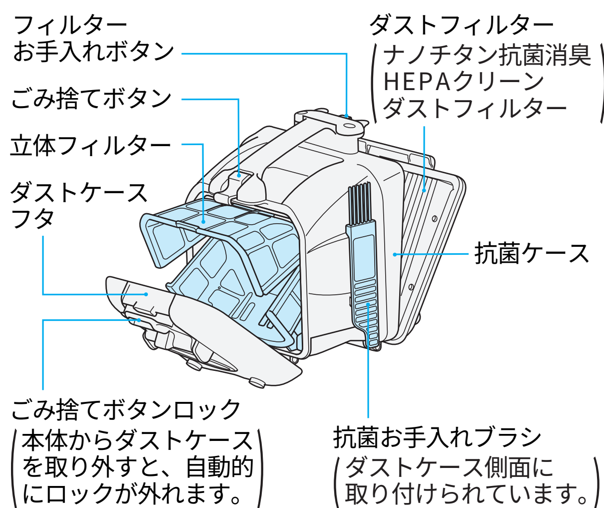
ダストケースの取り外しかた



お願い

●ダストケースを取り外すときは、「ごみ捨てボタン」や「フィルターお手入れボタン」を押したり、「集じん口」を下に向けないでください。
ごみがこぼれる場合があります。

ダストケースの構成



安全上のご注意　必ずお守りください

ご使用になる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

■表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

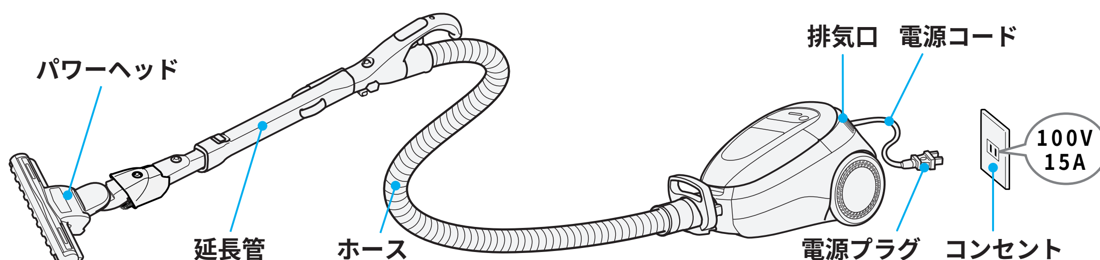
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例


「警告や注意を促す」内容のものです。


してはいけない「禁止」内容のものです。

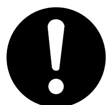

必ず実行していただく「指示」内容のものです。



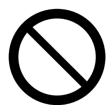
⚠警告

●火災・感電・けがを防ぐために

電源(コンセント・プラグ・コード)

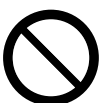


- ●定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う
- ●電源プラグは根元まで確実に差し込む
- ●ごみ捨てやお手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く
  また、ぬれた手で抜き差ししない
- ●電源プラグのほこりなどは定期的に乾いた布でふき取る



- ●電源コードを傷つけない
  （傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・ねじり・重いものを載せる・挟み込むなどしない）
- ●傷んだ電源コードや電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない
- ●電源コードを回転ブラシに巻き込まない

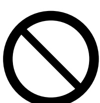
パワーヘッド(吸込口)



- ●回転ブラシや持ち上げ停止スイッチには触れない
  特にお子さまにはご注意ください。



そのほか



- ●分解したり修理・改造しない
- ●水洗いや風呂場での使用はしない
  (水洗いできる部分は除く)
- ●灯油、ガソリン、シンナー、可燃性ガス、たばこの吸い殻などを吸わせない









⚠注意

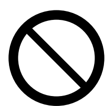
●発火・ショート(短絡)・けがを防ぐために

電源(コンセント・プラグ・コード)

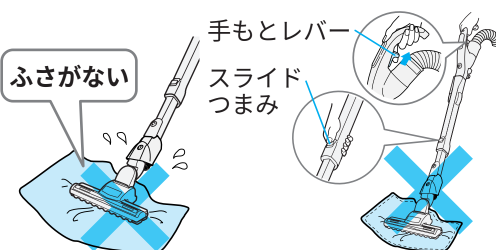


●使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く
電源コードが傷つき、ショート(短絡)して感電や発火することがあります。
●電源コードを巻き取るときは電源プラグを持つ
電源プラグが当たってけがをすることがあります。

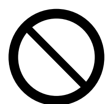
パワーヘッド(吸込口)



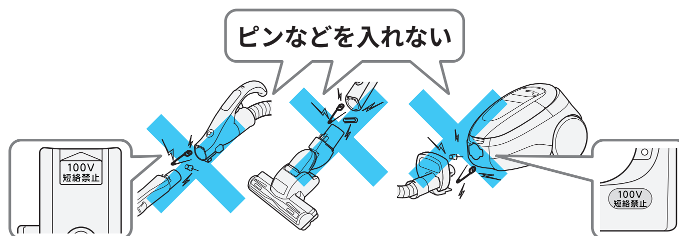
●吸込口をふさいで、スライドつまみをスライドさせたり、手もとレバーを引かない
延長管が急に縮んで、けがをすることがあります。
●吸込口をふさいで長時間運転しない
過熱による本体、パワーヘッドの変形・発火の原因となります。
●ほかの製品に取り付けて使わない
過熱によるパワーヘッドの変形・発火の原因となります。



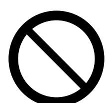
ホース・延長管



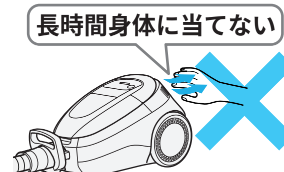
●ホースや延長管の先端で掃除をしたり、ホース差し込み口、ホース、延長管の接点にピンなどを入れない
ショート(短絡)・発火の原因となります。



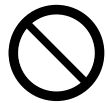
排気口



●排気口をふさがない
過熱による本体の変形・発火の原因となります。
●排気口から出る風を、長時間身体に当てない
やけどをすることがあります。



そのほか



●引火性のもの(ガソリン、ベンジン、シンナー)の近くで使用しない
●火気に近づけない
本体の変形によるショート(短絡)・発火の原因となります。

使用上のお願い

故障などを防ぐために、次のことをお守りください。
また、本文中の お願い 事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

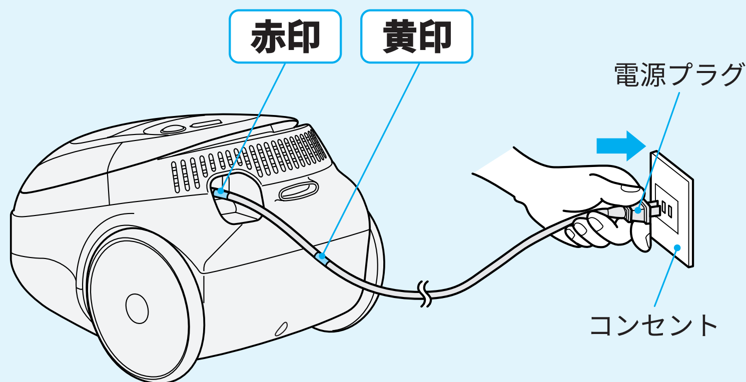
●電源コードは赤印以上無理に引き出さない
断線の原因となります。
●ホースや延長管の先端で掃除しない
接触不良や破損の原因となります。
●破れたり、傷ついたホースを使用しない
故障の原因となります。
●持ち運びするときは、ホースを持ってぶら下げない
ホースの破損の原因となります。

●本体に乗らない
故障の原因となります。
●次のようなものは吸わせない
異臭や故障の原因となります。
・水や液体 ・湿ったもの ・吸湿剤(湿気取り) ・多量の砂
・多量の粉 ・長いひも ・ガラス ・押しピン、針
●水洗い後は十分に自然乾燥させる
異臭や故障の原因となります。

運転のしかた

1 電源コードを引き出し、電源プラグをコンセントに差し込む

電源コードを引き出すと、Wブルッとエンジンが働きます。 ➔ P.3



⚠警告

火災のおそれあり

●延長コードを使用したり、ほかの家電製品と同一のコンセントをご使用にならないでください。

⚠注意

けがのおそれあり

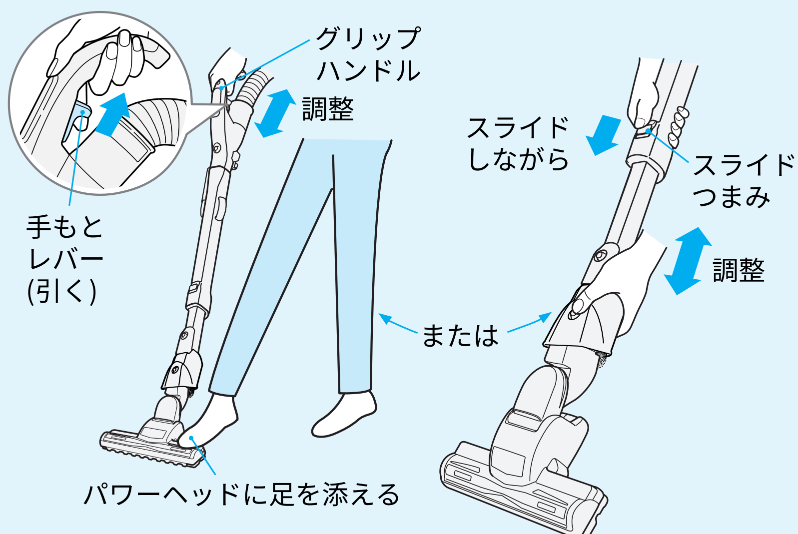
●ダストケースを取り付けてから、電源コードを引き出してください。

お願い

●電源コードは赤印以上引き出さないでください。
断線の原因となります。

2 延長管の長さを調節する

パワーヘッドに足を添えて、手もとレバーを引きながらグリップハンドルを上下させる
または、スライドつまみをスライドしながら、延長管を伸縮させる

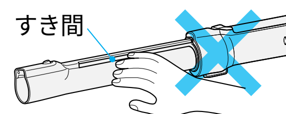


⚠注意

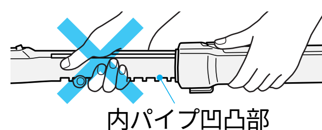
けがのおそれあり

●運転中に手もとレバーを引いたり、スライドつまみをスライドさせたりしないでください。
延長管が急に縮むことがあります。

●延長管のすき間に手などを入れないでください。



●掃除をするときや延長管を縮めるときは内パイプの凹凸部を持たないでください。
手をはさむことがあります。



③ 運転スイッチを押す

手動で運転したいとき

押すごとに「強」→「中」→「弱」→「強」…の順に切り替わり、運転します。

強 **じゅうたんの念入りなお掃除に**

中 **ふつうのお掃除に**

弱 **ゆか、たたみなどのお掃除に**

本体の運転状態に合わせて、回転ブラシの回転速度が変わります。

自動で運転したいとき

「これっきりエコボタン」を押して運転すると、センサーがゆか面の種類や状態と、パワーヘッドの操作のしかたを感知して、自動で「強」「中」「弱」運転を切り替えます。 ➔P.10

自動運転に合わせて、回転ブラシの回転速度も変わります。

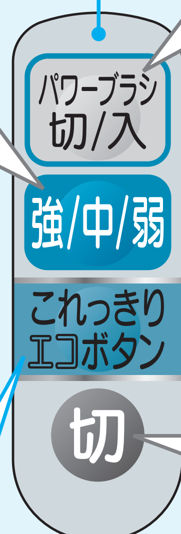
お知らせ

センサーは、次のようなことを感知して自動で運転を切り替えます。

- **●ゆか面の凹凸や傷み**
- **●じゅうたんの毛の向きや倒れ具合**
- **●パワーヘッドの操作速度および方向転換**
- **●パワーヘッドの停止**

このため、同じようなゆか面をお掃除していても、運転が切り替わることがあります。

手もと操作部



回転ブラシ(パワーブラシ)の回転を止めたいとき

運転中に押すごとに「切」→「入」→「切」… の順に切り替わります。

本体の運転が止まっているときに、「パワーブラシ切/入」スイッチを押しても、掃除機の運転は開始しません。また、回転ブラシも回転しません。

「これっきりエコボタン」で自動運転中は、「パワーブラシ切/入」スイッチを押しても、回転ブラシの回転は止まりません。

運転を止めたいとき

「切」スイッチを押します。

⚠注意

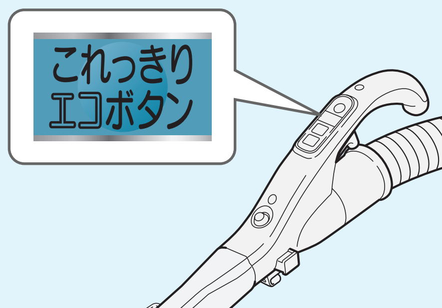
けがのおそれあり

●吸込口をふさいだ状態で、「強/中/弱」スイッチや「これっきりエコボタン」を押さないでください。
ホースが急に縮んで、本体が転倒することがあります。

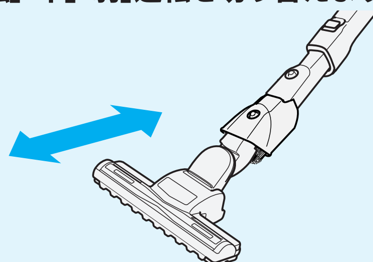
運転のしかた(続き)

「これっきりエコボタン」による自動運転について

1 **「これっきりエコボタン」を押す**
最初は「強」運転になります。



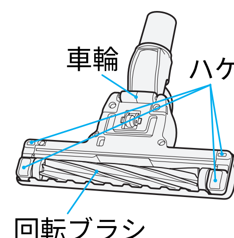
2 **パワーヘッドを前後に動かす**
センサーがゆか面の種類や状態と、パワーヘッドの操作のしかたを感知して、自動で「強」「中」「弱」運転を切り替えます。



こんなときは…

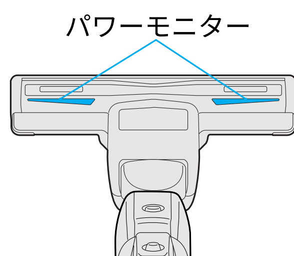
- **パワーヘッドをゆか面から浮かせているときは、パワーヘッドを浮かせる前の運転状態を保ちます。**
- **「これっきりエコボタン」で自動運転中に、パワーヘッドを取り外したときは、パワーヘッドを取り外す前の運転状態を保ちます。**
- **パワーヘッドを取り外した状態で、「これっきりエコボタン」を押して運転を開始したときは、「強」運転を保ちます。**
- **「これっきりエコボタン」で自動運転中は、「パワーブラシ切/入」スイッチを押しても回転ブラシの回転は止まりません。**

お願い
●パワーヘッドの車輪、ハケ、回転ブラシが磨耗していると、センサーがゆか面の種類や状態と、パワーヘッドの操作のしかたを正しく感知できないことがあります。
磨耗しているときは、お早めにお買い上げの販売店にご相談ください。
車輪、ハケ、回転ブラシは同時交換をおすすめします。➔ P.26、27



パワーモニターについて

●パワーモニターの色で、本体の運転状態や回転ブラシの回転速度をお知らせします。



本体の運転状態	回転ブラシの回転速度	パワーモニターの色
「強」運転のとき	高	赤
「中」運転のとき	中	オレンジ
「弱」運転のとき	低	緑

「これっきりエコボタン」で自動運転しているときは、運転状態に合わせてパワーモニターの色が変わります。

- **パワーヘッドをゆか面から浮かせると、安全のために回転ブラシの回転が止まります。** ➔ P.11
- **パワーヘッドの保護装置** ➔ P.23 **が働いているときは、パワーモニターは点灯しません。**
- **「パワーブラシ切/入」スイッチで回転ブラシの回転を止めているときは、パワーモニターは点灯しません。**

お掃除のしかた

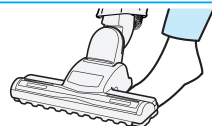
パワーヘッドの動かしかた

じゅうたん	**前後に動かしてお掃除します。引くときにごみがよく取れます。** ●初めてお掃除するじゅうたんの場合、あそび毛がたくさん取れることがあります。
ゆか・たたみ	**ゆか面の傷つき防止のため、ゆかやたたみの目にそって動かします。**

⚠警告

けがのおそれあり

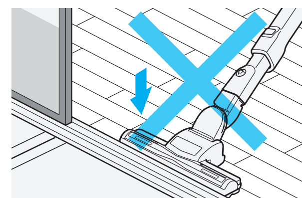
●パワーヘッドを引くときに、身体の一部(足の上など)に乗り上げないようにご注意ください。巻き込まれるおそれがあります。



⚠注意

ゆか面に傷をつけるおそれあり

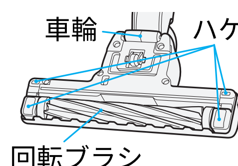
●ひのきやクッションフロア※などのやわらかいゆかの場合、運転中はパワーヘッドを同じ位置に止めたままにしないでください。
また、パワーヘッドをゆか面に強く押し付けないでください。



●車輪にごみが絡みつくと、車輪が磨耗する原因となります。
定期的にお手入れしてください。→P.21

●車輪、ハケ、回転ブラシが磨耗しているときは、お早めにお買い上げの販売店にご相談ください。(車輪、ハケ、回転ブラシは同時交換をおすすめします。)→P.26、27

※クッションフロアとは、表面に塩化ビニルなどを用いたクッション性のあるゆか材のことです。

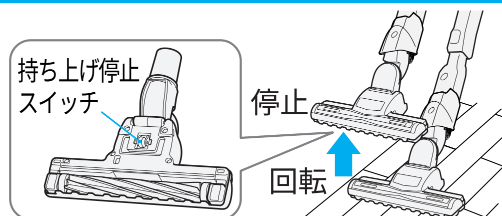


お願い ●ゆか面の種類によっては、操作が重くなることがあります。
このときは「弱」運転に切り替えてください。

パワーヘッドの持ち上げ停止スイッチについて

パワーヘッドをゆか面から浮かせると、安全のために持ち上げ停止スイッチが働いて、回転ブラシの回転が止まります。

●持ち上げ停止スイッチ部のお手入れは →P.21



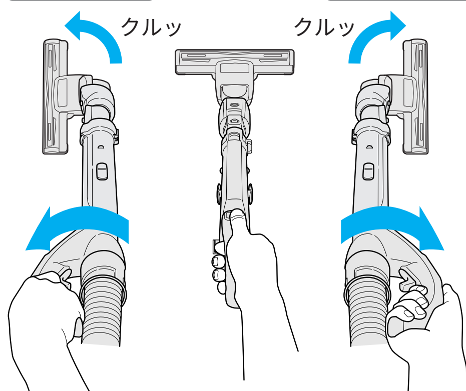
⚠警告

けがのおそれあり

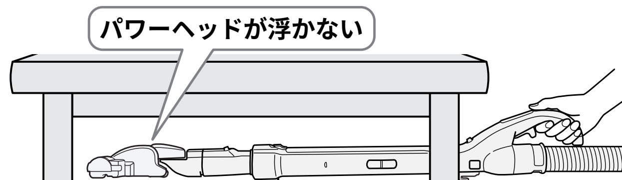
●パワーヘッドの回転ブラシや持ち上げ停止スイッチには触れないでください。
回転ブラシが回転することがあります。特にお子さまにはご注意ください。

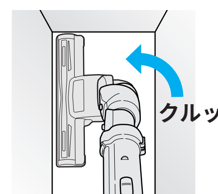
クルッと構造・ペタリンコ構造

グリップハンドルをひねると、パワーヘッドの向きが変わります。



ベッドの下など低い場所でも奥までしっかりお掃除できます。また、パワーヘッドをクルッと回してすき間もスムーズにお掃除できます。

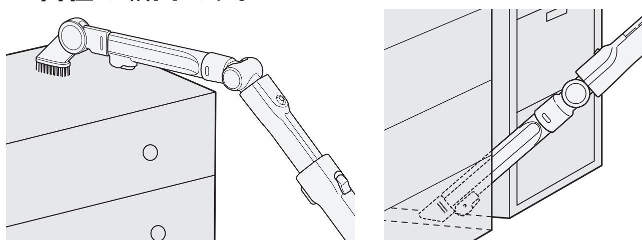




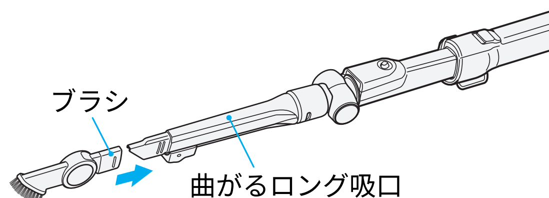
お掃除のしかた(続き)

曲がるロング吸口(D-SH4)

●家具の上やすき間の奥まで届く、先が細い伸縮自在の吸口です。

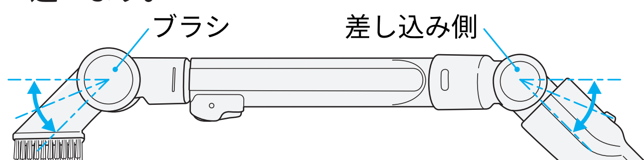


●ブラシを取り付けることができます。

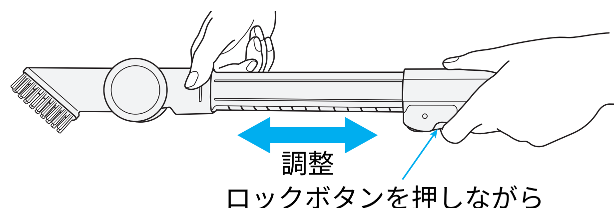


・ブラシを取り外すときは、曲がるロング吸口を完全に伸ばしてください。

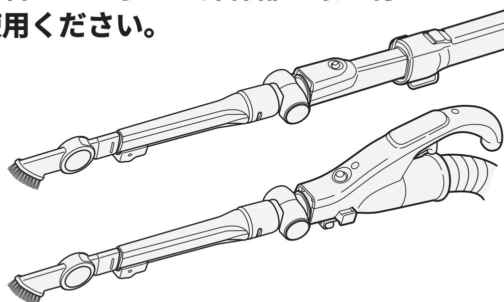
●ブラシと差し込み側で、それぞれ3つの角度が選べます。



●吸口を使いやすい長さに変えられます。



●延長管または手もと操作部に取り付けてご使用ください。



⚠注意

傷をつけるおそれあり

●ピアノなど特にやわらかい場所にはブラシを押し付けないでください。

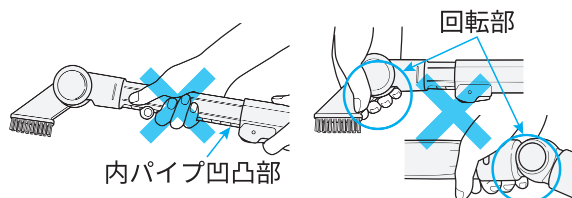
お願い

●曲がるロング吸口の長さを変えるときは、ロックボタンを押しながら伸縮させてください。
無理に引っ張るなどすると、破損するおそれがあります。
●曲がるロング吸口は水洗いができます。水洗い後は、十分に自然乾燥させてからご使用ください。
水を吸い込むと、故障するおそれがあります。

⚠注意

けがのおそれあり

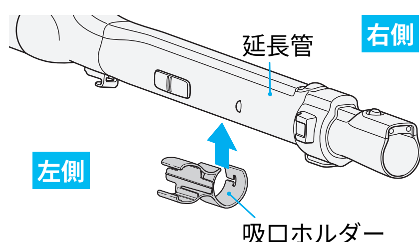
●運転中にロックボタンを押さないでください。
曲がるロング吸口が急に縮むことがあります。
●曲がるロング吸口を縮めるときは、内パイプの凹凸部を持たないでください。手をはさむことがあります。
●角度を変えるときは、回転部を持たないでください。手をはさむことがあります。



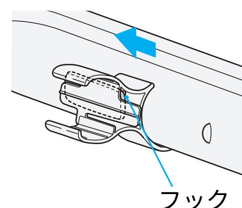
付属の吸口ホルダーを延長管に取り付けて、収納することができます。

1 延長管に吸口ホルダーを固定する

1 延長管に吸口ホルダーを取り付ける。

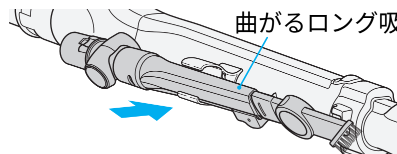


2 吸口ホルダーをスライドさせてフックに固定する。

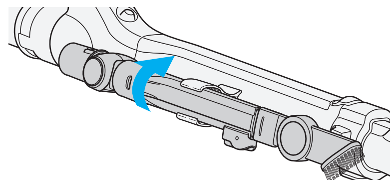


2 吸口ホルダーに曲がるロング吸口を取り付ける

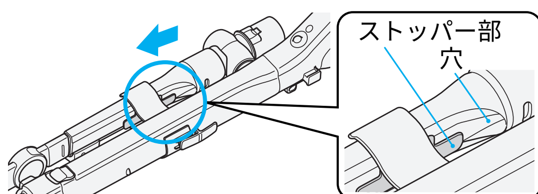
1 曲がるロング吸口を吸口ホルダーに入れる。



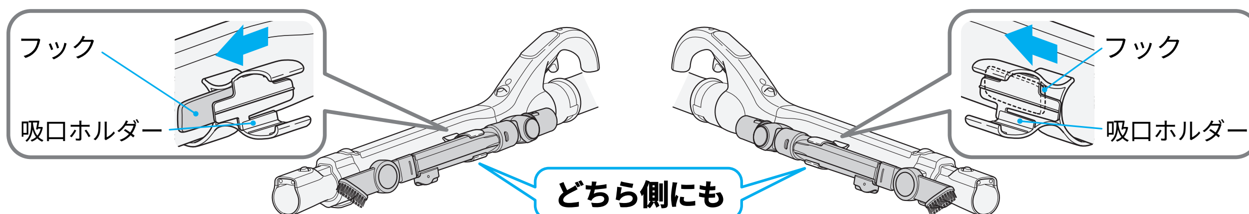
2 矢印の方向に回転させてはめ込む。



3 曲がるロング吸口の穴にストッパーを差し込む。

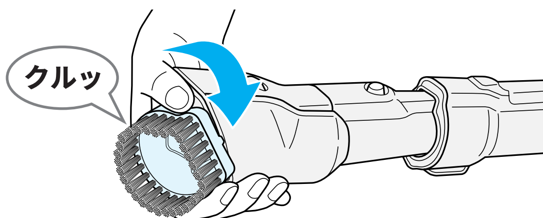


曲がるロング吸口は、左右どちら側にも収納できます。

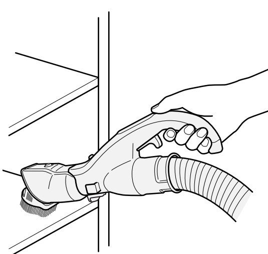


クルッとブラシ

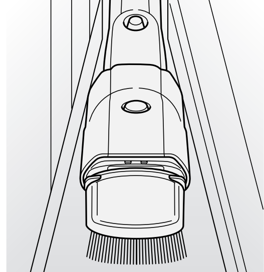
●パワーヘッド(または延長管)を外すとブラシが出ます。ブラシを回して角度が変えられます。
パワーヘッド(または延長管)を元どおり取り付けると、ブラシが収納されます。



棚の上も

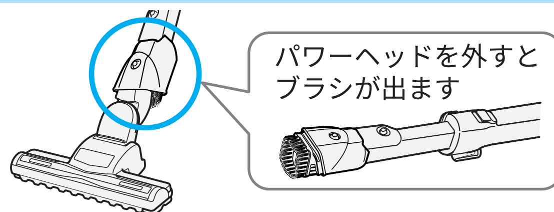


すき間も

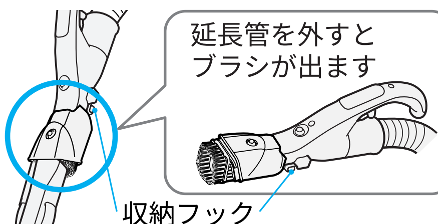


●クルッとブラシは、吸口側、手もと側のどちらでも取り付けることができます。

吸口側に取り付けるとき



手もと側に取り付けるとき



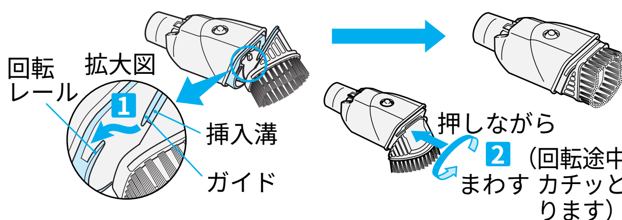
※手もと側に取り付けるときは、収納フックをホース側にスライドしてください。

→ P.20

使用中にブラシが外れた場合(ブラシの取り付けかた)

1 ガイドの挿入溝を、回転レールの先端に合わせる

2 ブラシを押しつけながら、回転させる



⚠ 注意

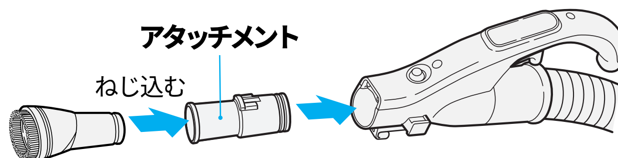
傷をつけるおそれあり

●ピアノなど特にやわらかい場所にはブラシを押し付けないでください。

お掃除のしかた(続き)

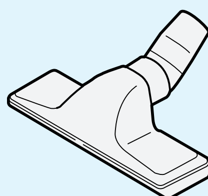
あると便利な別売り吸口

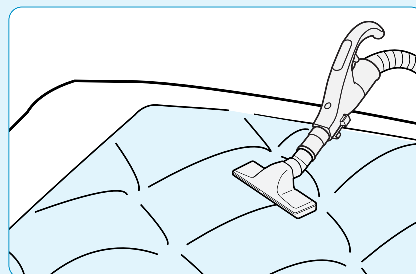
●付属の別売り部品接続用アタッチメントを使うと、別売りの吸口がご使用できます。➔ P.27
アタッチメントは、手もと操作部または延長管に取り付けてご使用ください。



■ふとん用吸口(G-52)

ふとんを傷めず、ダニ・ホコリ・糸くずなどを吸い取る吸口です。
(「弱」運転でご使用ください。)
水洗いができます。

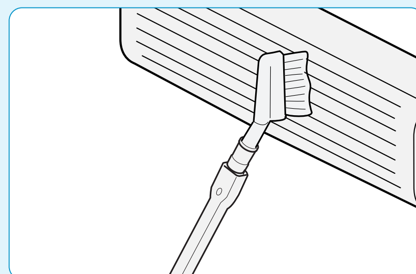




■はたき吸口(D-H3)

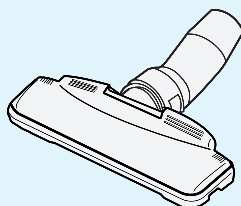
はたき感覚で、エアコン、ブラインド、家具などをお掃除する吸口です。
ブラシ部分は水洗いができます。

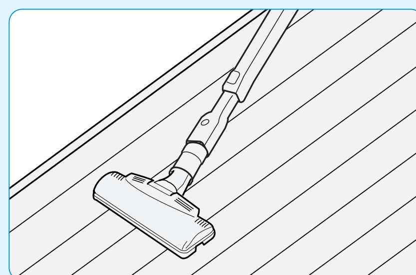




■丸洗いフローリングヘッド(D-F3)

フローリング、たたみに適した大きめの拭き専用ブラシ付きの吸口です。
(「中」「弱」運転でご使用ください。)
水洗いができます。

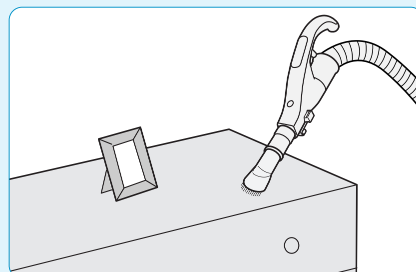




■棚用自在吸口(D-TJ2)

吸口の角度を変えて、棚の上などをお掃除する吸口です。
水洗いができます。





ごみの捨てかた

- ●お掃除が終わったら、ダストケースを取り外し ➔P.5、
  1「立体フィルター」と 2「ダストフィルター」のごみを捨ててください。
- ●本体のランプで、ごみ捨ての目安をお知らせします。➔P.18
- ●ティッシュペーパーを使うと、ごみ捨てがさらに簡単・清潔になりますのでおすすめします。➔P.17



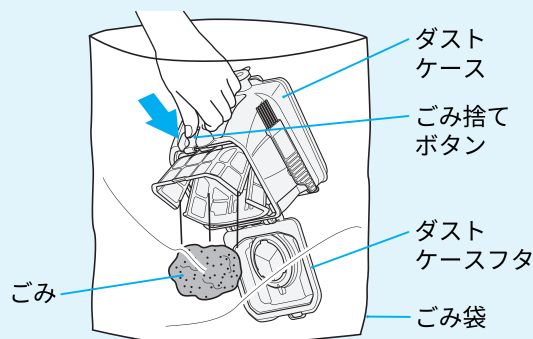
感電・けがのおそれあり
●ごみ捨ての際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お願い ●ごみ捨ての際に細かなほこりが舞い上がることがあります。屋外など、換気のよい環境でごみ捨てをしていただくか、マスクを着用するなどして、ほこりを吸い込まないようご注意ください。

1「立体フィルター」のごみの捨てかた

1 ダストケースを大きめのごみ袋などの中に入れ、ごみ捨てボタンを押す

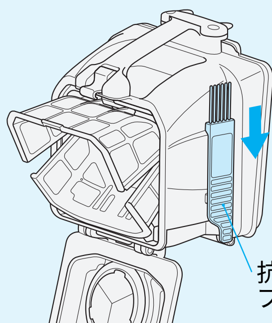
ダストケースフタを下に向けてごみ捨てボタンを押し、ごみを捨てる



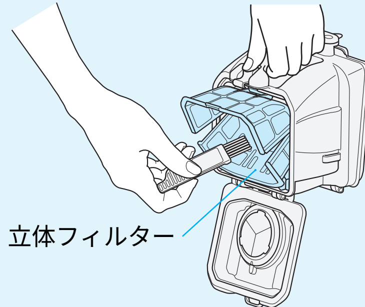
お願い
●ごみが出にくい場合は、ダストケースの側面をたたくなどして振動を加えてください。

2 立体フィルターに付着したごみを取り除く

ダストケース側面に取り付けられている抗菌お手入れブラシを取り外す



目詰まりを取り除く

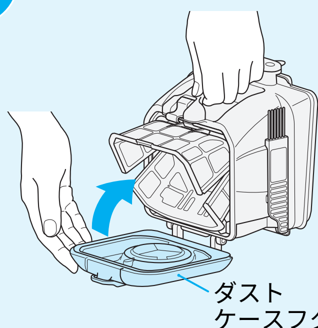




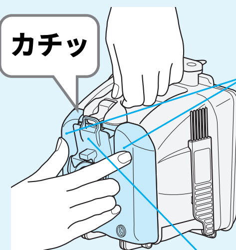
けがのおそれあり
●ガラスの破片や虫ピンなど鋭利なものを誤って吸い込んだときは、手を直接触れないで捨ててください。

●立体フィルターは取り外してお手入れできます。➔P.19

3 ダストケースフタを閉める



「カチッ」と音がするまで閉める



●ごみ捨てボタンロックを押しながら、ダストケースフタを閉めないでください。ダストケースフタが閉まりません。

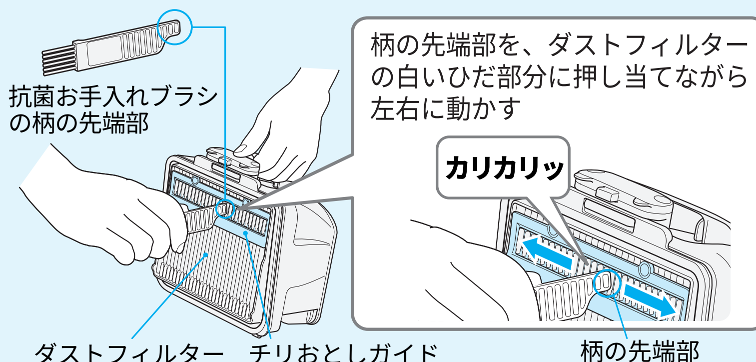
ごみの捨てかた(続き)

2 「ダストフィルター」のごみの捨てかた

1 ダストフィルターのチリを落とす

抗菌お手入れブラシの柄の先端部を、ダストフィルターの白いひだ部分に押し当てながらチリおとしガイドにそわせて、左右に5往復程度動かす

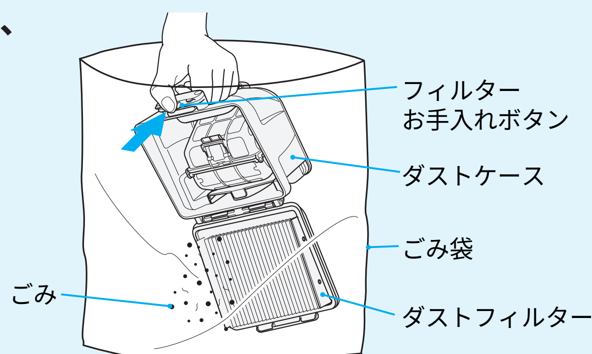
●これによりダストフィルターが振動し、付着したチリがダストケース内に落ちます。



2 ダストケースを大きめのごみ袋などの中に入れ、フィルターお手入れボタンを押す

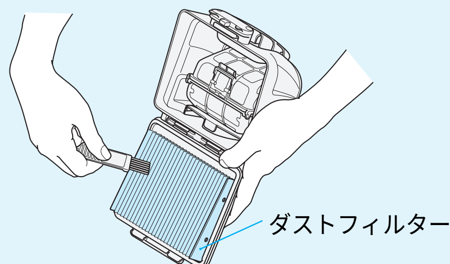
ダストフィルターを下に向けてフィルターお手入れボタンを押し、ごみを捨てる

●ダストフィルターを軽くたたいて付着したごみを落としてください。

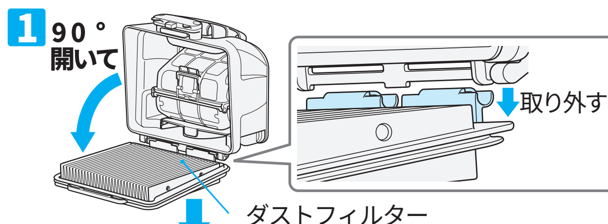


3 ダストフィルターに付着したごみを取り除く

ダストフィルターのひだを広げて、奥にたまったごみを抗菌お手入れブラシで取り除く



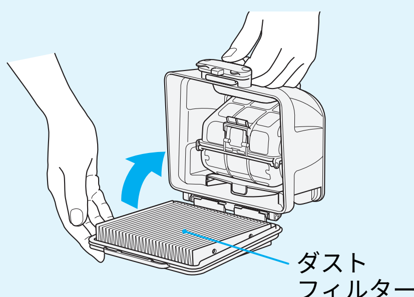
●取り外してお手入れすることもできます。



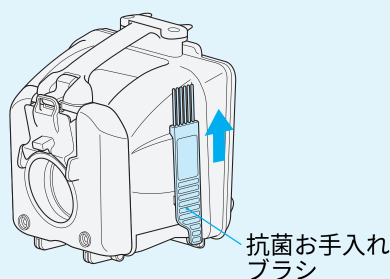
●お手入れ後は、取り外した逆の手順で取り付けてください。

4 ダストフィルターを閉め、抗菌お手入れブラシを取り付ける

1 「カチッ」と音がするまで閉める

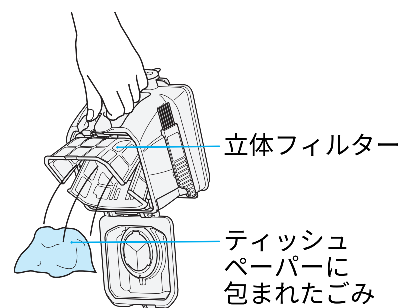


2 ダストケース側面に抗菌お手入れブラシを取り付ける



3 ティッシュペーパーを取り付ける場合

●ティッシュペーパーを使うと、ごみ捨てがさらに簡単・清潔になりますのでおすすめします。



お願い
●ティッシュペーパーは市販されている2枚重ねのものをご使用ください。
●ぬれたティッシュペーパーは使用しないでください。

1 ティッシュペーパーを広げて、立体フィルターにのせる

ごみ捨てボタンを押し、ダストケースフタを開ける

ごみ捨てボタン
立体フィルター
ダストケースフタ

ティッシュペーパーの端が、立体フィルターの端から1cm程度はみ出すようにのせる

1cm程度
ティッシュペーパー

2 立体フィルターをごみ捨てボタンのつめに引っ掛ける

立体フィルターの端をティッシュペーパーと一緒につまむ

ティッシュペーパーでくるむようにつまむ

立体フィルターをごみ捨てボタンのつめに引っ掛ける

つめ
ティッシュペーパーと一緒に引っ掛ける

3 ティッシュペーパーを立体フィルターの奥まで押し込む

1 ティッシュペーパーの端をダストケースの端に合わせる(中央にたるみができます)

●ティッシュペーパーを折りたたむ必要はありません。

2 ティッシュペーパーの端に手を添えたまま、

3 立体フィルターの奥まで押し込む

たるみ
1 端を合わせる
2 手を添えたまま
立体フィルターにそわせる
3 奥まで押し込む

●ティッシュペーパーの種類や取り付け状態によっては、ティッシュペーパーが破れることがありますが問題ありません。
●ごみ捨て時にティッシュペーパーが破れていても問題ありません。

お願い
●立体フィルターにごみが付着した場合は、付属の抗菌お手入れブラシで取り除いてください。

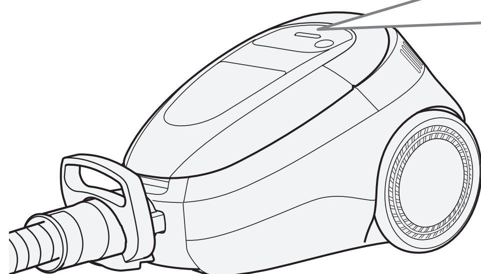
4 ダストケースフタを閉める

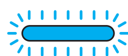
カチッ
ダストケース

●ティッシュペーパーがダストケースからはみ出していても問題ありません。
●ティッシュペーパーを使用した場合、吸込仕事率が10W程度下がります。

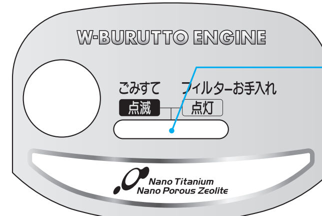
ごみの捨てかた(続き)

本体のランプ(ごみすて/フィルターお手入れ)について




点滅 **ごみ捨てのお知らせ(目安)です。**
➔P.15、16


点灯 **フィルターお手入れ(水洗い)のお知らせ(目安)です。** ➔P.19



「弱」運転状態のときは、点滅／点灯しません。
「これっきりエコボタン」「中」運転状態のときは、点滅しません。

こんなときは…

●細かい砂ごみ、土ぼこりを吸わせたとき
少量のごみでも「本体のランプ」が点滅／点灯することがあります。
このようなときは、ごみ捨て／フィルターのお手入れ（水洗い）をしてください。

●綿ごみなどが多いとき
ごみがいっぱいになっても「本体のランプ」が点滅／点灯しないことがあります。
お掃除が終わったら「立体フィルター」と「ダストフィルター」のごみを捨ててください。

●毛足の長いじゅうたんなどで吸込口がふさがれたときや、曲がるロング吸口をご使用のとき
吸い込み風量が少なくなるため、ごみの量に関係なく「本体のランプ」が点滅／点灯することがありますが、そのままご使用いただけます。

●ティッシュペーパーを取り付けたとき
通常より早期に「本体のランプ」が点滅／点灯することがあります。
このようなときは、ごみ捨て／フィルターのお手入れ（水洗い）をしてください。

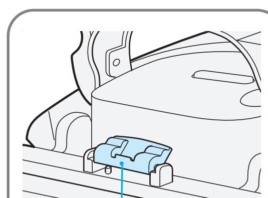
●延長コードを使用したり、ほかの家電製品と同一のコンセントをご使用のとき
電源電圧の低下により、早期に「本体のランプ」が点滅／点灯することがあります。
定格15A以上のコンセントを単独でご使用ください。

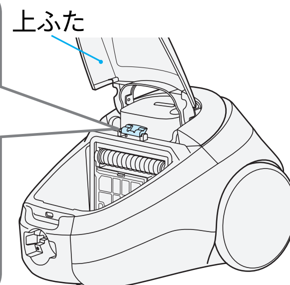
●「本体のランプ」が点滅したまま運転を続けたとき
「本体のランプ」が点灯することがあります。
「立体フィルター」と「ダストフィルター」のごみを捨ててください。

上ふたのストッパーについて

ダストケースの取り付け忘れを防ぐため、ダストケースが取り付けられていない状態では、ストッパーの働きにより、上ふたが閉まりません。ダストケースを取り付けてから上ふたを閉めてください。

●ダストケースが取り付けられていない状態で上ふたを無理に押さえると、上ふたやストッパーが破損するおそれがあります。





吸込力が弱くなったら

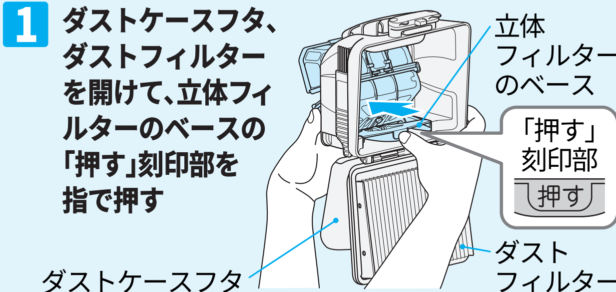
ダストフィルターのごみを捨てても「吸込力が回復しない」、「本体のランプが点灯した」とき

●各フィルターを水洗いし、十分に自然乾燥させてください。
乾燥には約12時間必要です。(乾燥時間は、環境や季節によって異なります。)

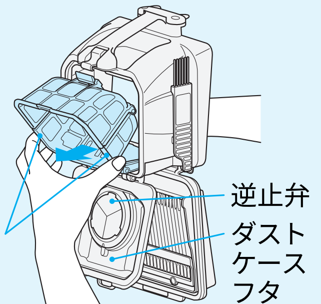
立体フィルター

1 立体フィルターを取り外す

1 ダストケースフタ、ダストフィルターを開けて、立体フィルターのベースの「押す」刻印部を指で押す



2 立体フィルターを取り外し、各フィルター、ダストケースを水洗いする



立体フィルターの枠を持ち、ダストケースフタ側から引き出す

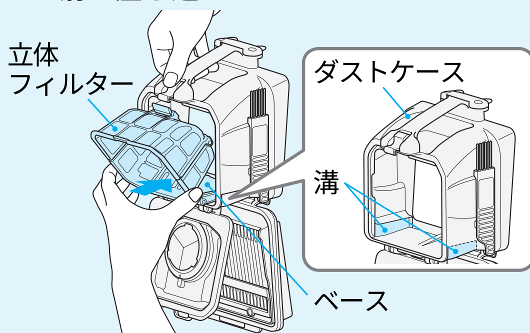


けがのおそれあり
●分解するときは、「押す」刻印部を押してください。

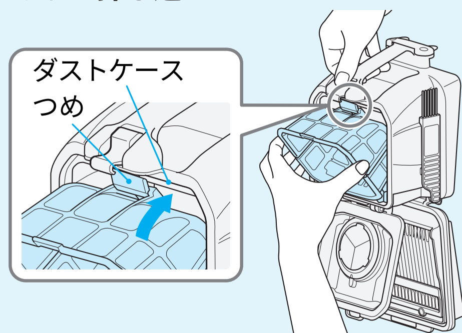
お願い ●立体フィルターを強く押して洗わないでください。破損の原因となります。
●逆止弁を引っ張らないでください。破損の原因となります。

2 立体フィルターをダストケースに取り付ける

1 立体フィルターのベースをダストケースの溝に差し込む

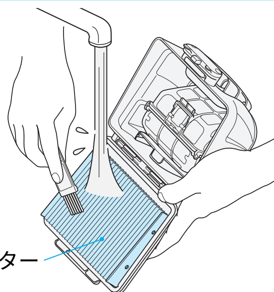


2 立体フィルターのつめがダストケース内に収まるまで押し込む



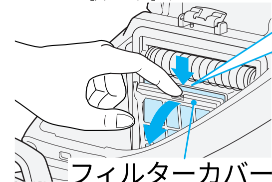
ダストフィルター

●ひだを広げて奥にたまったごみを水で流してください。
●取り外してお手入れすることもできます。➔ P.16



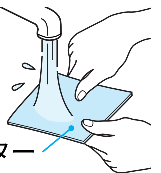
抗菌消臭フィルター
(ナノチタン･アレルオフ･ナノポーラスゼオライト抗菌消臭フィルター)

1 フィルターカバーを取り外す



2 抗菌消臭フィルターを取り外し、水で軽くもみ洗いする

●たたいて水気を切り、自然乾燥させます。



お願い
●ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤、漂白剤などを使用したり、洗濯機で洗ったりしないでください。また、ヘアードライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。性能の低下や変形の原因となります。
●付着しているごみやほこりは、軽く落としてから水洗いしてください。
●付属の抗菌お手入れブラシ以外のブラシは使用しないでください。破損の原因となります。
●ダストケースおよび各フィルターは、取り付けて運転してください。モーターにごみが入り、故障の原因となります。
●各フィルターを水洗いしても吸込力が弱い場合は、フィルターの劣化が考えられます。各フィルターの取り替えをご希望される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。➔ P.26、27

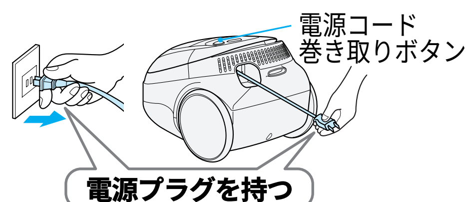
あとかたづけ

電源コードの巻き取りかた

電源プラグを持って、電源コード巻き取りボタンのマーク部(⏚)を押しながら、電源コードを巻き取ってください。



けがをする・家具に傷をつけるおそれあり
●電源プラグを抜くとき・電源コードを巻き取るときは、電源プラグを持ってください。

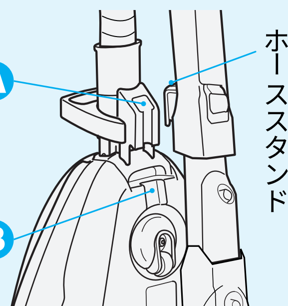


収納のしかた

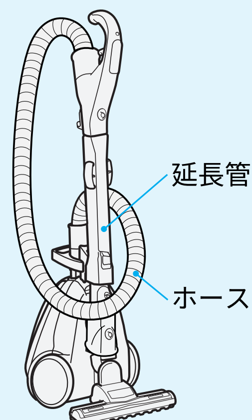
1 延長管を縮めて ➔P.8 **取り付け溝にホーススタンドを差し込む**

クルッとブラシを吸口側に取り付けているとき➔P.13はAの取り付け溝に

クルッとブラシを手もと側に取り付けているとき➔P.13はBの取り付け溝に



2 ホースを延長管に巻きつける

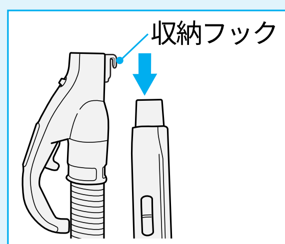


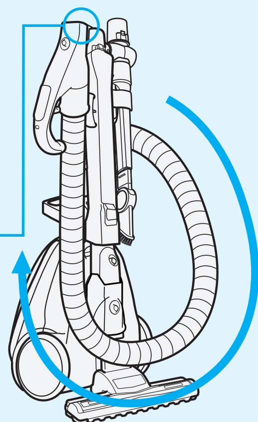
さらにコンパクトに収納したいとき

●手もと操作部を延長管から外してください。 ➔P.4、5

サッと収納

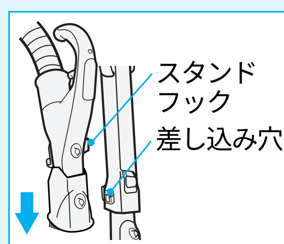
ホースを延長管に巻き付けて、延長管に収納フックを引っ掛けてください。

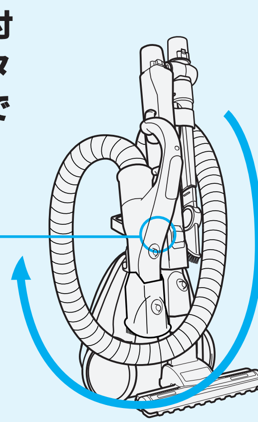




コンパクト収納

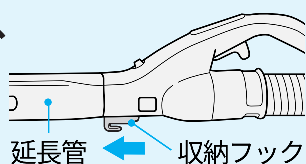
ホースを延長管に巻き付けて、差し込み穴にスタンドフックを差し込んでください。



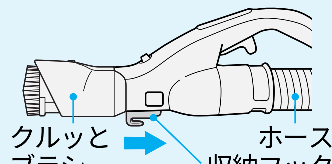


収納フック

・サッと収納のときは、収納フックを延長管側にスライドすることができます。



・クルッとブラシを取り付けるときは、収納フックをホース側にスライドしてください。





けがのおそれあり
●収納状態のままで持ち運ぶと、ホースや延長管が外れることがあります。

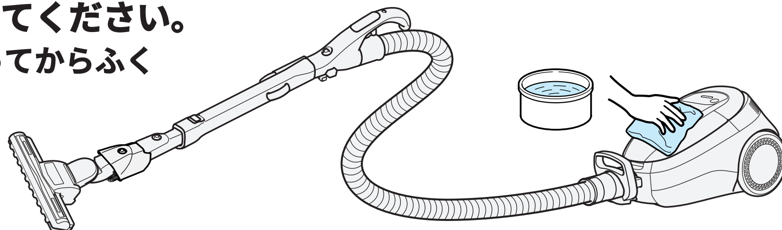
お願い
●ストーブの近くや直射日光が長時間当たるなど、高温になる場所での収納はしないでください。ホースの変形や故障の原因となります。
●ホースがつぶれたり、折れ曲がるなど、変形するような状態での収納はしないでください。

お手入れのしかた


警告
感電・けがのおそれあり
●お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本体・付属品

●汚れが気になるときはお手入れしてください。
水を含ませたやわらかい布をよく絞ってからふく



お願い ●ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などは使用しないでください。
変色、変形などの原因となります。

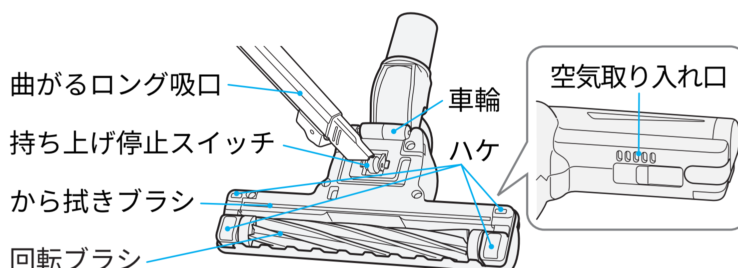
パワーヘッド

●吸込力が弱くなったり、汚れが気になるときはお手入れしてください。
●定期的なお手入れ(月1回程度)をおすすめします。
持ち上げ停止スイッチ、回転ブラシ、から拭きブラシ、ハケ、車輪、空気取り入れ口にごみが付着していると、吸込力の低下や故障の原因となります。また、車輪にごみが絡みつくと、車輪が磨耗する原因となります。

お願い ●パワーヘッドは、延長管や手もと操作部から取り外してお手入れしてください。

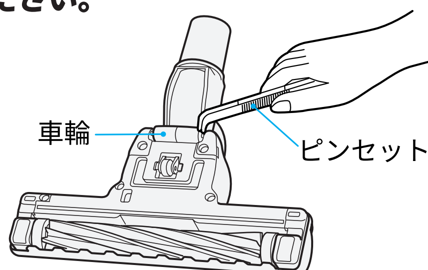
付着したごみを取り除く

曲がるロング吸口を使ってごみを吸い取ってください。



車輪に絡みついたごみを取り除く

ピンセットなどで取り除いてください。




注意
ゆか面に傷をつけるおそれあり
●車輪にごみが絡みつくと、車輪が磨耗する原因となります。
●車輪、ハケ、回転ブラシが磨耗しているときは、お早めにお買い上げの販売店にご相談ください。(車輪、ハケ、回転ブラシは同時交換をおすすめします。) ➔ P.26、27

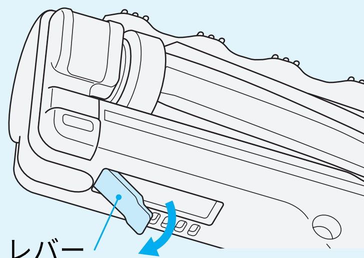
お願い ●持ち上げ停止スイッチに無理な力を加えないでください。破損の原因となります。

お手入れのしかた(続き)

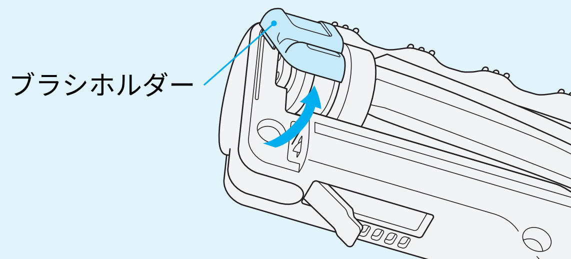
回転ブラシをお手入れする

1 ブラシホルダーを取り外す

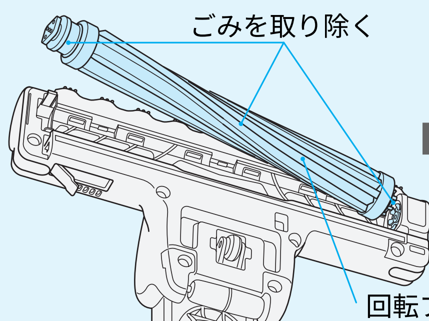
1 パワーヘッドを裏返してレバーを開く

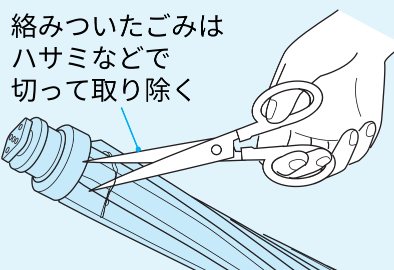


2 ブラシホルダーを取り外す



2 回転ブラシを取り外し、ごみを取り除く



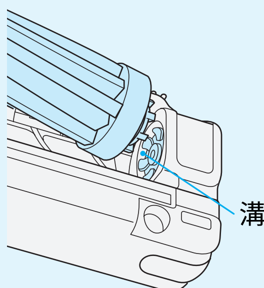




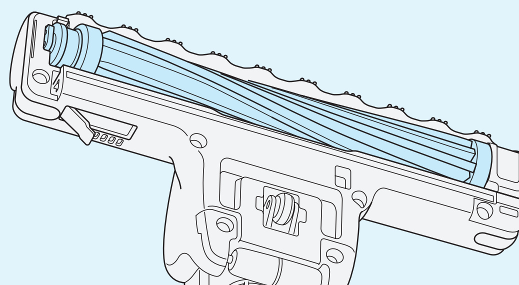
お願い
●ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などは使用しないでください。
変色、変形などの原因となります。
●回転ブラシを水洗いした場合は、十分に自然乾燥させてから取り付けてください。

3 回転ブラシを取り付ける

1 回転ブラシを溝に合わせる

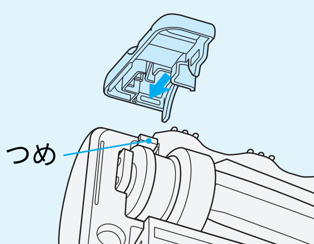


2 元どおり取り付ける

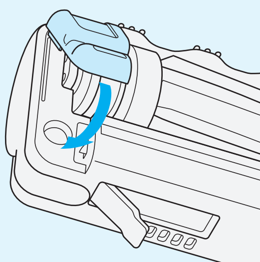


4 ブラシホルダーを取り付ける

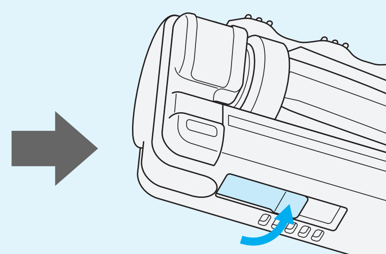
1 つめを引っ掛ける



2 ブラシホルダーを取り付ける



3 レバーを閉める



故障かなと思ったら

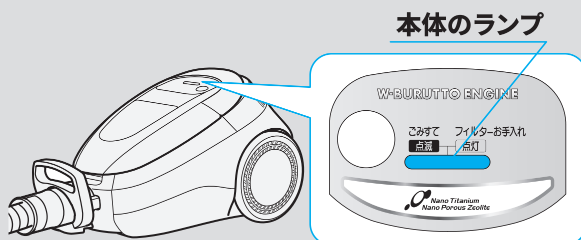
修理を依頼される前に
次の点をもう一度お調べください

本体が運転できない、パワーヘッドの回転ブラシが回転しない

保護装置が働いている場合があります。次の直しかたにより保護装置を解除してください。

本体が運転できない

本体のランプ

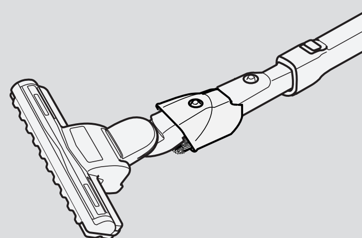


保護装置と原因

本体のランプが点灯したまま運転を続けると、本体モーターの過熱を防ぐために、自動的に「弱」運転になります。
さらにこの状態で運転を続けると、自動的に運転を停止します。

- フィルターのごみ詰まり
- 吸込口をふさいだままの運転
- ホース・延長管のごみ詰まり

パワーヘッドの回転ブラシが回転しない



回転ブラシに異物をはさみ込むなどした状態で運転を続けると、パワーヘッドモーターの過熱を防ぐために、自動的に回転ブラシの回転を停止します。

- 異物のはさみ込み
- ゆかやじゅうたんなどへの押し付け

直しかた

「切」スイッチを押し、電源プラグをコンセントから抜く

- ごみ捨て/フィルターのお手入れ(水洗い)をする → P.15〜19
- 吸込口をふさいでいるものを取り除く
- ホース･延長管に詰まったごみを取り除く
- 回転ブラシにはさみ込んだ異物を取り除く → P.21、22

約5分後〜60分後に保護装置が解除され、再びご使用いただけます。

故障かなと思ったら(続き)

■その他の症状

症　状	確認するところ	直しかた	ページ
吸込力が弱い	(1)ダストケースのごみがいっぱいになっていませんか。 (2)ダストフィルターにごみが付着していませんか。	(1)ごみを捨ててください。	P.15 P.16
		(2)ダストフィルターのお手入れをしてください。	P.19
ダストケースのごみがいっぱいになっていないのに吸込力が弱い 本体のランプが点滅／点灯する	(1)ダストフィルターにごみが付着していませんか。 (2)延長管、ホース、つぎてにごみが詰まっていませんか。 (3)パワーヘッドにごみが詰まっていませんか。	(1)ダストフィルターのお手入れをしてください。	P.19
		(2)ごみを取り除いてください。	—
		(3)ごみを取り除いてください。	P.21 P.22
	延長コードを使用したり、ほかの家電製品と同一のコンセントでご使用になると、電源電圧の低下により、早期に本体のランプが点滅／点灯する場合があります。定格15A以上のコンセントを単独でご使用ください。		—
急に吸込力が弱くなり、しばらくすると回復する	●パワーヘッドを押しつけたり、ふさぐようにして薄いカーペット、毛足の長いじゅうたんなどをお掃除していませんか。 ●曲がるロング吸口、クルッとブラシをカーテンなどに押しつけたりふさぐようにしてお掃除していませんか。	本体モーターの過熱防止のため、自動的に電力を抑える運転をしています。異常ではありません。 ●回復しにくい時は、スイッチを切ってから、もう一度運転をしてください。 ●回復後は、パワーヘッドに力を入れず、すべらせるように軽く動かしてください。	—
本体が運転しない	(1)電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 (2)本体にホースが確実に差し込まれていますか。	(1)しっかり差し込んでください。	P.8
		(2)「カチッ」と音がするまでしっかり差し込んでください。	P.4 P.5
パワーヘッドの回転ブラシが回転しないまたは回転しにくい	(1)パワーブラシが「切」になっていませんか。 (2)本体、ホース、延長管、パワーヘッドなどがしっかり接続されていますか。 (3)パワーヘッドがゆか面から浮いていませんか。 (4)回転ブラシ、空気取り入れ口、持ち上げ停止スイッチなどにごみなどが付着していませんか。 (5)延長コードを使用したり、ほかの家電製品と同一のコンセントを使用していませんか。	(1)もう一度、「パワーブラシ切/入」スイッチを押してください。	P.9
		(2)しっかりと接続してください。	P.4 P.5
		(3)ゆか面から浮かせると止まる構造になっています。	P.11
		(4)ごみを取り除いてください。	P.21 P.22
		(5)定格15A以上のコンセントを単独でご使用ください。	—
パワーモニターが点灯しない	パワーブラシが「切」になっていませんか。	もう一度、「パワーブラシ切/入」スイッチを押してください。	P.9

症　状	確認するところ	直しかた	ページ
本体から「ピー」という音が出る	本体にダストケースが確実に取り付けられていますか。	確実に奥まで取り付けてください。	–
電源コードが全部入らない、または引き出せない	電源コードが片寄って巻き込まれたり、よじれたりしていることがあります。電源コード巻き取りボタンを押しながら、電源コードを黄印まで引き出してよじれを直したあと、もう一度巻き込んでください。		–
排気や本体があたたかくなる(特に夏場)	空気の流れで本体モーターを冷却しているためで、異常ではありません。		–
排気から異臭が出る	(1)ダストフィルターにごみが付着していませんか。 (2)水洗い後のフィルターの乾燥が不十分ではないですか。	(1)ダストフィルターのお手入れをしてください。	P.19
		(2)水洗い後は、十分に自然乾燥させてください。	P.19
クルッとブラシのブラシが出ない	内部にごみが詰まっていませんか。	ごみを取り除いてください。 ブラシに付着したごみは「曲がるロング吸口」で吸い取ってください。	–
確認してもまだ異常がある場合		**ご自分で修理をなさらないで、お買い上げの販売店へご相談ください。**	P.26

アフターサービスと保証

使用中に異常が生じたときは

「故障かなと思ったら」**➔ P.23〜25****をご確認のあと、それでも故障と思われる場合には、ご自分で修理をなさらないでお買い上げの販売店にご相談ください。**

●修理を依頼されるため、掃除機を販売店にお持ちの際は、標準付属品(ホース、延長管、パワーヘッド)もご一緒にお持ちください。

お知らせいただきたい内容
1 **型式**－CV-SM10
2 **症状**－できるだけ詳しく

保証について

この商品は保証書付きです。

●保証書は販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますから、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
●保証期間は**お買い上げの日から1年間**です。
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
●保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
当社は販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

一般家庭用以外でご使用になるとき

●共同(寮など)でご使用になるなど、一日の使用時間が一般家庭に比べて極端に長い場合には、短時間で部品の交換（パワーヘッドなど）が必要になることがあります。
お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検をなさってお使いになることをおすすめします。
●このような場合は、保証期間中でも有料になることがあります。

※この掃除機は家庭用です

転居される場合

●ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。
●電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても、部品の交換は不要です。

部品の保有期間について

この掃除機の補修用性能部品の保有期間は、**製造打ち切り後6年**です。
補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

愛情点検



★長年ご使用の掃除機の点検を

ご使用の際、このような症状はありませんか？	症状		ご使用中止	対応
	●スイッチを入れても時々運転しないことがある。 ●電源コードを折り曲げると、通電したり、しなかったりする。 ●運転中に異常な音や振動がする。 ●本体が変形していたり、異常に熱い。 ●焦げ臭い“におい”がする。 ●その他の異常があるとき。	➔		このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は エコーセンターへ
TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87
(受付時間) 9:00〜19:00 (365日)
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は お客様相談センターへ
TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-34
(受付時間) 9:00〜17:30(月〜土)、9:00〜17:00(日・祝日)
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

●「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
●お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
●ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
●修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

別売り部品

日立の家電品取扱店でお求めください。
価格は、２００８年7月現在の消費税率を基に総額表示を行っています。

●別売り吸口をご使用になる場合は、付属の別売り部品接続用アタッチメントをご使用ください。 ➔ P.14

●ふとん用吸口(G-52)	●はたき吸口(D-H3)	●棚用自在吸口(D-TJ2)	●丸洗いフローリングヘッド(D-F3)	●クルッと切替えブラシ吸口
				※別売り部品接続用アタッチメントを使用する必要はありません。 サービスパーツ CV-PL8-009 クルッと切替えブラシ吸口 とご指定ください
希望小売価格 1,785円 (税抜 1,700円)	希望小売価格 3,990円 (税抜 3,800円)	希望小売価格 1,260円 (税抜 1,200円)	希望小売価格 5,250円 (税抜 5,000円)	希望小売価格 1,050円 (税抜 1,000円)

●付属応用部品や、補修用性能部品もお買い求めいただけます。

●曲がるロング吸口(D-SH4)	●ブラシ(SH4)	●吸口ホルダー(SH4)	●抗菌お手入れブラシ
サービスパーツ CV-SM10-029 曲がるロング吸口(D-SH4) とご指定ください 希望小売価格 5,250円(税抜 5,000円)	サービスパーツ CV-SM10-030 ブラシ(SH4) とご指定ください 希望小売価格 525円(税抜 500円)	サービスパーツ CV-SM10-031 スイクチホルダー(SH4) とご指定ください 希望小売価格 315円(税抜 300円)	サービスパーツ CV-SK20-001 抗菌お手入れブラシSK とご指定ください 希望小売価格 420円(税抜 400円)
●サッとハンドル	**●クルッとブラシ**	**●別売り部品接続用アタッチメント**	**●ダストフィルター**
サービスパーツ CV-SM10-028 サッとハンドルSM10 とご指定ください 希望小売価格 1,260円(税抜 1,200円)	サービスパーツ CV-SJ10-033(シャンパン) CV-SJ9-020(アクアマリン) クルッとブラシ とご指定ください 希望小売価格 2,100円(税抜 2,000円)	サービスパーツ CV-SM10-033 アタッチメント(SM) とご指定ください 希望小売価格 315円(税抜 300円)	サービスパーツ CV-SM10-008 Bフィルタークミ SM とご指定ください 希望小売価格 1,470円(税抜 1,400円)

●回転ブラシ	●ブラシホルダー(ハケ)	●車輪
サービスパーツCV-SM10-025 ロータリブラシクミ(AP22) とご指定ください 希望小売価格 2,520円(税抜 2,400円)	サービスパーツCV-SL10-031 ジクウケカバーL,Rセット(AP19) とご指定ください 希望小売価格 315円(税抜 300円)	サービスパーツCV-SK20-022 ローラLセット とご指定ください 希望小売価格 840円(税抜 800円)

●上記希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

仕様

電　　源	100V　50-60Hz共用	**本体寸法**	長さ330mm×幅255mm×高さ219mm
消費電力	1000W～約200W	**標準付属品**	ホース……1本 パワーヘッド……1個 延長管……1本
吸込仕事率※	590W～約80W		
運　転　音	59dB～約53dB	**付属応用部品**	サッとハンドル……1個 曲がるロング吸口(D-SH4)……1個 ブラシ(SH4)……1個 吸口ホルダー(SH4)……1個 抗菌お手入れブラシ……1個 クルッとブラシ……1個 別売り部品接続用アタッチメント……1個 ティッシュペーパー(ダストケース装着)……1枚
集じん容積	0.4L		
コードの長さ	5m		
質　　量	5.7kg(標準付属品を含む)		

※吸込仕事率は、ティッシュペーパー非装着時のものです。

	部品名	抗菌の確認を行った試験機関名	試験方法	抗菌の方法	抗菌の処理を行っている部分の名称
抗菌効果	パワーヘッド	(財)日本紡績検査協会	JIS Z 2801に基づく	樹脂に練り込み	プラスチック
	回転ブラシ	(財)日本化学繊維検査協会	JIS L 1902に準ずる*	繊維に付着	刷毛
	抗菌ケース	(財)日本紡績検査協会	JIS Z 2801に基づく	樹脂に練り込み	プラスチック
	ダストフィルター	(財)日本紡績検査協会	JIS L 1902に基づく	繊維に付着	シート状不織布
	抗菌お手入れブラシ	(財)日本紡績検査協会	JIS Z 2801に基づく	樹脂に練り込み	プラスチック
	抗菌消臭フィルター	(財)日本紡績検査協会	JIS L 1902に基づく	繊維に付着	シート状不織布

＊蛍光灯照射時(1,000lx)

お客様メモ
後日のために記入しておいてください。サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名　　　　**電話**

ご購入年月日　　**平成**　　**年**　　**月**　　**日**

日立アプライアンス株式会社
〒105-8410　東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03)3502-2111

3-M0153-5　　F8(H)